戦評用紙

大会名	第70回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会　兼　第51回NHK杯大会

日時	20 15　年　6　月　21　日　14　:　10　～	区分	山形県バスケットボール協会

チームA				チームB
秋田県立能代工業高等学校				明成高等学校
83	16	1Q	26	101
	21	2Q	23	
	22	3Q	29	
	24	4Q	23	
		延長		

【戦　評】

昨年と同カードの対戦となった男子決勝は、白のユニフォーム能代工業が#4･5･6･7･8、臙脂（赤）のユニフォーム明成高等学校が#6･7･8･9･10のスターティングメンバーで試合開始。ディフェンスは両チームともマンツーマン。試合序盤は両チームとも厳しいディフェンスでロースコアーの展開。しかし、開始五分、赤#8のミドルシュートやダンクシュート、ドライブインなどが決まり徐々に点差が離れはじめる。一方白は、得点を取られても速攻からの得点を狙い、速い攻撃を仕掛け応戦するが、点差で10点ついたところで第1ピリオド終了。白16－26赤。

第2ピリオドも両チームマンツーマンからスタート。序盤は#4のスリーポイントシュート、#5のインサイドと連続で得点をあげ差を詰めるが、開始3分、赤が厳しいディフェンスからの速攻などで再び点差を10点まで広げたところで白が1回目のタイムアウト。白21－31赤。タイムアウト後、白が勢いを取り戻し#4のアウトサイドシュートや#7のドライブインなどで差を詰める。白は4点まで差を詰めたが、開始7分、赤#11がスリーポイントを決めたところで白が前半2回目のタイムアウト。白32－39赤。その後は両チームともアウトサイドシュートを効果的に決め点数を重ねていくが、最後は赤#8がインサイド、アウトサイドと連続で得点し白37－49赤と、赤が12点リードし前半が終了する。

後半もメンバー･ディフェンスとも変わらずスタート。白は3連続でスリーポイント決め追い上げをはかる。それに対して赤も#7のドライブインや#8のインサイドで対抗する。白は#4が足を痛め交代を余儀なくされる。#4不在の中、白もミドルシュートを沈め粘りを見せるが、この間赤が連続で得点を決め点差を広げていく。6分、白52－67赤と15点まで差が広がったところで白が後半1回目のタイムアウト。白は#7が中心となり、攻撃を組み立てていくが、アウトサイドのシュートも単発になってしまう。一方赤は#10のアウトサイドが連続で決まり始め、リードを広げる。白59－78赤。赤が19点リードし第3ピリオド終了。

第4ピリオドも同様のディフェンスでスタート。開始直後は両チームともスリーポイントシュートを決める。しかし、開始2分、赤#8がローポストからのターンしダンクシュートを決めて勢いに乗る。開始5分、白は最後の追い上げに備えるため後半2回目のタイムアウト。白70－88赤。白はオールコートからの厳しいディフェンスで連続得点を決め粘りを見せるが、赤は#10がスリーポイントを連続で決め追撃を許さない。白は後半3回目のタイムアウトを取るが万事休す。最後は白83－101赤。明成高校が18点差で勝利し、昨年の雪辱を果たした。

[illegible]

戦評者　　神位　裕介